

◆ 平成28年度活動報告シート ◆

団体名：ワミポップ

19A-27

代表者：代表 扇原 淳

URL : http://blog.livedoor.jp/ogiharalab/archives/cat_38475.html

1. 活動が必要とされた状況

活動の中心地である埼玉県秩父郡皆野町三沢地区は、少子・高齢化による過疎化が進み、耕作継続が困難な農地や管理継続が困難な山林が増えており、従来型の活動とともに付加価値を伴う新しい取り組みが求められていた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・ 6月：約10人，麦刈り，沢清掃
- ・ 7月：約60人，夏祭り支援・水場清掃，ツリーハウス整備及びイベント打ち合わせ
- ・ 10月：約50人，イベント開催（バウルサック提供等）
- ・ 12月：約6人，間伐材の伐採，ツリーハウス整備
- ・ 1月：約6人，かりんとうづくり体験，ツリーハウス整備及びイベント打ち合わせ
- ・ 2月：約100人，かりんとうづくり・提供（カザフスタン）
- ・ 3月：約10人，シイタケの種コマ植え付け（予定），ツリーハウスイベント（予定）

3. 活動の成果

耕作継続困難農地で栽培した小麦や蕎麦を使った伝統料理（バウルサック・カザフスタン，かりんとう・日本）をふるまうイベントを開催した。単純な環境保全活動から一歩足を踏み出し，インターカルチュラル／インターローカルをキーワードとした地域活性化に結びつく活動となった。



4. 今後に残された課題

当初9月に開催の予定であったツリーハウスを拠点としたイベントは、天候の都合で開催できなかった。屋外を会場とするイベントは天候に左右されるため、開催時期については再検討する必要がある。

一方で、耕作継続困難農地や管理継続困難山林における環境保全活動が生み出す農産物や加工品の開発が、地域活性化や農業や林業による住民の所得の増加に結びつく可能性が見えてきた。

次年度以降、継続した活動を行う予定である。